

---

# ハビット先生と義成先生へのインタビュー記事

ポケポケパン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ハビット先生と義成先生へのインタビュー記事

### 【Nコード】

N3311I

### 【作者名】

ポケポケパン

### 【あらすじ】

今回はハビット先生と義成先生にインタビューいたしました。

皆様、今回もご足労いただきありがとうございます。

今回はハビト先生と義成先生にご協力を承ることができましたので、今回も早速行ってみようかと思えます。

両先生には再度御礼申し上げます。

・先生はこの「小説家になろう」サイトをどうやって知りましたか？  
ハビト先生

「ポケモン関係のワードでネットサーフィンをしていたら偶然見つけましたね。」

義成先生

「休日に、携帯でネットをいじってたら、たまたま、このサイトにたどり着きました。」

2

・ポケモンのファンフィクションを書こうと思ったきっかけはなんでしたか？

ハビト先生

「バクフーンさんやゆるすけさんやHERONさんの作品を見て、とても面白かったので僕も書いてみようかなーと思ったのがきっかけでしたね。それとその時期が丁度冬休みで暇だったというのもありますけど( ^ - ^ ; )」

義成先生

「TOM先生の小説をみたからです。TOM先生の作品をみて、自分もこんな小説を書けたらと思い、ポケモン小説を書くことにしました。」

・先生の年齢と出身地を教えてください。

ハビト先生

「年齢は18歳です。出身地は福島県です。今は茨城県に生息しています（笑）」

義成先生

「17歳、ワカバタウンに住んでいます…とえば、分かる方がいるかもしれません（笑）」

・先生のポケモンのファンフィクションを執筆する以外の趣味を教えてください。

ハビト先生

「昼寝とか、音楽鑑賞。マンガを読んだりとか、ゲームをしたりなど…ですかね…。あとは車で一人旅にでたり、最近パチンコにはまりつつありますね。」

義成先生

「ギターを弾くこと、音楽を聞くこと、あと武道の経験もあり、そのときに使っていた木刀で素振りするのも最近のマイブームです。」

・一番好きなポケモンの音楽・BGMを教えてください。

ハビト先生

「初代ポケモンのオープニングのめざせポケモンマスターですね。あれはいまだに好きですからねえ。それからハナダシテイのBGMやマグマ団とアクア団のバトル時のBGMなど、まだ他にも結構あったりします。」

義成先生

「かなり甲乙つけがたいものがありますが…ミュウツウの逆襲のテーマソング？名前を忘れてしまいましたが…あれは神曲だと思います。今でも聞くと鳥肌が立ちますね。」

・キャラクターを考案する時にヒントを得たもの、あるいはアイデ

アをもらったことはありませんか？

ハビト先生

「だいたいは脳内でキャラクターを作りますが、やはりゲームとかマンガ、ドラマなどの人物を参考にしたキャラも中にはいますね。カズなんかは、某ホスト部漫画を少し参考させてもらってたりしますね（^| ^:）」

義成先生

「某格闘ゲームから引つ張ってきたものもありますし、自分の友達をモデルにしたものもあります。また、北欧神話の神様を使ったりもしています。」

・一話を書くのに有する時間はどれくらいですか？

ハビト先生

「はやくて3時間〜5時間ですが、遅いと1週間以上かかったりします。」

義成先生

「その日の気分にも因りますが、だいたい2、3時間です。」

・ポケモン小説以外でポケモングッズに関するちよつと誇示できるようなことはありますか？ あるいはポケモンに関して語れるエピソードなどはありますか？

ハビト先生

「正直誇示できることはほとんどないですね。あるとしたら小さいころポケモンシールを買いまくったことぐらいですかね。」

義成先生

「今現在は、親戚の子に上げてしまいました。ポケモンの指人形というものがありまして（今でもあるのですかね？）、それを二百近く持っていました。」

・ポケモンそのものにはいつ、どういったように出会いましたか？

(例：幼稚園の時にテレビで、小学生の時にゲームボーイなどで)  
ハビト先生

「僕は小学生の低学年の時に買ってもらった緑ですね。そこから今現在まできてますね。」

義成先生

「確か自分が五歳ぐらいのときに、姉貴がやっていたポケモン赤がきっかけでした。ちなみに、それが自分のゲームデビューです。」

・同じポケモンファンフィクション作者として意識、あるいは刺激をもらった作者さんたちはいましたか？

ハビト先生

「ゆゝすけさんやkaryuさんやバクフーンさんやLinoさんなど……正直かなりの人を意識してたりしますね。」

義成先生

「Karyu先生、ゆゝすけ先生、赤神先生、TOM先生です。自分が、ポケモン小説の師として仰いでいる先生方です(笑)」

・執筆中に特に気をつけているものはありますか？

ハビト先生

「キャラを空気化させないことです。なるべくはキャラの個性を引き出すよう頑張ってはいますが……僕自身まだまだです。」

義成先生

「誤字脱字などの注意はもちろんですが、差別用語や、過激な言葉、読者の方々が不快な気分になるような言葉を使っていないか、そこを一番気をつけています。」

・作品を投稿、連載していて嬉しかったことはなんですか？  
ハビト先生

「いろんな人と知り合えたことです。あとkaryuさんの小説に僕のキャラクターを出させてもらえたことです。あの時は本当に嬉

しかったです。」

義成先生

「やはり、感想や評価が来たときですね。今でも新しい感想が来る  
とかなり嬉しくなります。」

・ 思い入れの深い話とキャラクターを教えてください。（例：一番  
書くのに苦労した、一番楽しかった、いろいろと試行錯誤をしたが  
結局断念したプランなど）

ハビト先生

「思い入れの深い話は、リュウガとアカネの因縁を描いた話です。  
アカネは金銀時代にリアルにボコボコにやられましたからね…しか  
も回も…。」

書いてて楽しいキャラクターはカズですかね。金髪で顔はかなりの  
イケメンなのに、超ナルシストでしかも弄られキャラですからね。  
絶対にリアルではないキャラです。」

一番苦労したキャラは意外とマツバです。主人公のリュウガと性格  
が被るところが多いので、少し原作とは違い、リュウガお兄さんの  
なキャラにしたりと大変でした。」

義成先生

「TOM先生とのコラボです。自分が最も尊敬している先生の一人  
である方とコラボできたのが、かなり嬉しかったです。」

キャラは、ライフです。ライフは主人公のサポーター役だったので  
すが…（笑）

実はライフ、自分の理想の人物像なんです。悪ぶっているが、涙も  
ろく優しい。ポケモンバトルも剣術も強い…。書いてて楽しいです  
し、自分のお気に入りキャラです。」

・ 好きなポケモンを五つ教えてください。

ハビト先生

「ヘルガー、サンダー、サンダース、ライボルト、バクフーンです。」

正直この5匹以外にも好きなポケモンはまだありますが（^| ^ ;  
）」

義成先生

「（ダークライ）

あのダークでカッコイイ雰囲気、そして映画での騎士道精神、惚れ  
ました。

（ドンカラス）

ポケモンの中で一番好きなポケモンです。あの悪の親玉的な雰囲気、  
たまりません。

（ガブリアス）

ゲームの我がチームのエース。彼に何回助けられたことか…。

（ラプラス）

初代からずっと大好きでした。実在したら一番欲しいかもしれませ  
ん。

（ルカリオ）

もはや勇者ですね。ビジュアル的にも、トップクラスです。いたら  
友達になりたいです（笑）」

・先生にとってポケモンとはなんでしょう？

ハビト先生

「癒し系ですかね……。簡単に例えるなら自分のペットみたいな感  
じです。」

義成先生

「自分にとっての英雄であり、師です。様々なことをポケモンから  
学びましたし、高校生になった今でも、憧れをくれます。」

・オーキド博士よろしくポケモン川柳を一ついただけますか？（こ  
れは任意で構いません）

ハビト先生



「現実に ホントにポケモン いないかなあ」

義成先生

「ドンカラス

闇を率いる

悪の首領<sup>ドン</sup>

お粗末でした。」

・読者の皆様には是非一言お願いいたします。

ハビト先生

「最近本当に忙しく、更新が遅いですが、応援よろしくお願ひします。」

義成先生

「一言じゃ済まないかもな…（笑）  
ども。義成です。

皆さん、日頃本当にありがとうございます。

こんな二流三流の小説を書く自分ですが、これからも誠心誠意、頑張つて行く所存です。

義成のポケモン小説を読んで下さる読者の皆さん、そして先生方、本当にありがとうございます。

これからもよろしくお願ひします。」

ハビト先生に義成先生、ありがとうございました。

さて、レビューへと参りたいと思います。

ハビト先生の「Pocket Monsters LINK」迷える少年」では主人公が運び屋としてさまざまな依頼を受けて過去のしがらみを背負っているという設定になっており、登場するキャラ達の掛け合いや会話はまるで本当にポケモンの世界にいるような、

そんな雰囲気味わえます。更新を楽しみにお待ちしております。

義成先生の「ポケモンストーリー 神々の息吹」では主人公のケイがコリンクと共に旅に出る物語。ロキという仲間と共に協力しながら旅をするのですが、私は義成先生がキャラ達の情緒を表現するのに秀でていると感じています。私ももしストーリーを書くのであれば、習うところが多いです。

今回は両先生方が迅速にインタビューの結果をいただいたのですが、私の方が編集を遅れてしまい申し訳ありませんでした。

それでは、また次回

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3311i/>

---

ハビット先生と義成先生へのインタビュー記事

2010年10月11日02時20分発行